

認定看護師の役割と活動

第5回 『がん化学療法看護認定看護師』

社会福祉法人北海道社会事業協会函館病院

えびぬま まなみ
海老沼 真奈美 様

令和3年3月掲載

私達認定看護師の役割には「個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践すること（実践）、看護実践を通して看護職に対し指導を行うこと（指導）、看護職等に対しコンサルテーションを行うこと（相談）」と日本看護協会で定義されています。がん化学療法看護認定看護師は、がん化学療法を行っている患者さんやそのご家族のQOL（生活の質）を保ちながら、意思決定支援、副作用に対するセルフケア支援、抗がん剤治療を安全・安楽に、そして確実に治療が完遂する事を目標に日々活動をしています。最近では、外来通院をしながら治療を継続する患者さんが増えてきました。がん化学療法は、辛い副作用がつきものです。そうした副作用を上手にコントロールし、治療に対する意欲を途切れさせないように、患者さんやそのご家族と一緒に困難を乗り越え、その人らしく生きる事が出来る為に、「寄り添う看護実践の姿勢

を大切にする事」をモットーにしています。

実は私は、元々関東地方の病院でがん看護に従事していました。北海道に移住した当初は、これまでとは違う生活様式に戸惑う事が多くありました。北海道では、漁業や農業、酪農に従事している方が多く、例えば、手足症候群（抗がん剤の副作用の一種：手足のしびれ・腫脹・赤み・爪周囲のささくれや出血を伴う症状の事）へのセルフケア 1 つとっても、会社勤務をされている方とはケアのポイントが異なるという事に、中々気づく事ができませんでした。私は、以前このような経験をしました。とある昆布漁師の方に、手足症候群のスキンケアについて指導介入した時の事です。スキンケアが行き届いておらず、皮膚障害（いわゆる手荒れ）がひどく爪の周りはささくれて出血もあり、また痛みも訴えていました。どのようなケアをしていたのかを聞くと、ほとんどケアをしていなかった事が判明しました。そこで、この方の日常生活の様子を再度確認すると、乗船している間ケアは、ほとんど無理という事がわかりましたので、それ以外の時間で、どのタイミングならばケアが実施できるのかを、ご本人ご家族と一緒に確認する作業を行いました。私自身、漁の手順や過酷さを知ることができ、非常に有意義な時間だったと思っています。ご本人もこちらの気持ちを理解して頂けたのか、直ぐ

に効果は表れませんでした。来院される度に自ら成果を披露してくれるようになりました。

さらに当院では、炎症性腸疾患（IBD…長期にわたり消化管に原因不明の炎症や潰瘍を生じ、出血、下痢、体重減少、発熱などのさまざまな症状をおこす病気の総称。代表的な疾患として潰瘍性大腸炎、クローン病がある）の患者さんに対する治療のサポートもさせていただいております。同様に患者さんとそのご家族が、安心して治療と生活を両立出来るよう、多職種と協働しています。特にこの病気は食事管理がとても重要であるため、当院の管理栄養士と共に支援させて頂いております。

また、がん化学療法は専門性が高い為、それを担う看護の提供がスムーズに出来るようスタッフへの教育にも力を入れております。薬剤の特殊性に応じた投与管理の実践、新規薬剤等の情報提供、副作用マネジメント支援、抗がん剤曝露対策（注①）、CV ポート管理（注②）等について、がん化学療法に携わる院内外の看護師や医療従事者への教育も行っています。最近では、在宅での支援も多くなり、訪問看護ステーションスタッフへの教育や連携も、今後さらに充実させていきたいと考えています。

がん治療は、日進月歩で進化をしています。決して患者さんが置き去

りにならないように、これからも自己研鑽を重ねつつ、患者さんとその家族に向けて持てる力を発揮していきたいと思っています。

注釈)

①抗がん剤暴露対策…抗がん剤はその毒性から、がん患者さん以外が触れたり、吸収したりすることで人体に悪影響が出るということが知られています。そのため、不必要な抗がん剤の接触はなるべく最小限にする必要があります。医療スタッフはもとより、がん患者さんやその家族へも暴露対策の指導をしています。

②CV ポート管理…中心静脈カテーテルの一種で、正式には皮下埋め込み型ポートといわれるもの。その名前のとおり、皮膚の下に埋め込んで薬剤を投与する為に使用します。

●現在、函館市内では下記の病院に在職しています●

函館協会病院・国立病院機構函館病院

函館五稜郭病院・函館中央病院・函館医師会病院